



DSANJ Bio Conference

提案資料作成ガイドライン

はじめに	・・・	2
資料全体について	・・・	3
「表紙」について	・・・	4
「Executive summary」について	・・・	6
「Background to study」について	・・・	7
「Summary of study」について	・・・	8
「Advantage of this study…」について	・・・	10
「Plan for practical application …」について	・・・	11
「Reference」について	・・・	12
「Related Information」について	・・・	12
お問い合わせ	・・・	13

Drug Seeds Alliance Network Japan 事務局

更新日 2025.09.19

はじめに

Drug Seeds Alliance Network Japan（以下「DSANJ」とします）は、製薬企業・ベンチャーキャピタル（VC）とのマッチングの場である DSANJ Bio Conference にご提出いただく提案資料の作成に関するガイドライン（以下、「本ガイドライン」とします）を作成いたしました。

DSANJ は、創薬分野における研究開発を実施するアカデミア、スタートアップ、バイオベンチャーの研究者が、本ガイドラインに沿って作成された提案資料を製薬企業・VC にプロモーションし、同企業との連携（共同研究等）を支援いたします。

提案資料の作成にあたっては、おおむね学会発表等で作成されたスライドを活用いただけます。一方、DSANJ Bio Conference では、面談当日まで口頭発表の機会が設けられておらず、参加企業は提案資料をもとに研究者へ個別面談をリクエストいたします。企業との面談に進んでいただくため、可能な限り本ガイドラインに沿って資料を作成いただくことを強く推奨しております（本ガイドラインは、過去 15 年間の DSANJ Bio Conference に参加された企業の声をもとに作成しております）。

なお、秘密保持の観点から、**提案資料は非秘密情報のみで作成をお願いいたします。**（非秘密情報で構成される提案資料の転用は、参加企業各社に対して DSANJ が固く禁じております）。

最後に、DSANJ Bio Conference を通じて皆様の研究成果の価値が飛躍的に高まり、また研究が持続的なものとなりますことを心からご祈念申し上げます。

【英語での資料作成について】

DSANJ Bio Conference には外資系企業の参加も予定されているため、**提案資料は原則英語での作成をお願いいたします。**外資系企業から参加される方々は、直接の報告先（レポートライン）が日本人以外となるため、研究成果を英語で記載していただくことにより、評価が迅速になります。

DSANJ は、研究者と企業が効果的かつ効率的にサイエンスの価値を共有できるパートナーを見つけ出し、双方が創薬力を高め合う最適な環境を構築することを趣旨としております。企業とのコラボレーションの選択肢を広げていただくためにも、英語での資料作成をお願いいたします。

資料全体について

1) 指定フォーマット

- ・提案資料の作成にあたっては、DSANJ が提供する Microsoft ® PowerPoint フォーマット（提出書類内「Proposal materials for DSANJ Bio Conference」）のご使用をお願いいたします。フォーマット各ページの左下には資料の取り扱いに係る企業向けの注意書き（※注）が記載されていますので、削除されませんようお願いいたします。

※注意書きを削除してご提出いただいた場合、DSANJ 事務局にて本注意書きの追加をいたします。予めご了承ください。

- ・提案資料フォーマットに記載の「ガイド文言（薄青背景のテキストボックス）」は削除をお願いいたします。

※注：資料の取り扱いに係る注意書き（例）

Copyright © 2025 Drug Seeds Alliance Network Japan (DSANJ)
DSANJ edits and creates this material based on non-confidential information received from the proposer and / or researcher. Any Secondary use of this material is strictly prohibited.
DSANJは研究者から受領した非秘密情報に基づいて本資料を編集・作成しています。本資料の二次利用を固く禁じます。

2) 各項目の配分と規定枚数

- ・「表紙」1枚、「Executive summary」1枚、「Background to study」2～3枚、「Summary of study」3～5枚、「Advantage of this study over competing studies」2枚、「Plan for practical application and collaboration with companies」2枚、「Reference（Patents / Background materials）」1枚、「Related Information」1枚の計13～16枚が標準となります。枚数に上限はございませんが、評価者（企業）にかかる負荷の観点から最大18枚程度を上限として作成いただくことをお勧めしております。

3) 出典

- ・資料に論文や統計データ等、第三者の著作物を引用する場合は出典を記載いただきますようお願いいたします。

「表紙」について

1) フォントサイズ

- ・タイトルは日英併記（タイトル 18 ポイント、サブタイトル 14 ポイントを目安）、所属・肩書・氏名は日英併記（12 ポイントを目安）で作成をお願いいたします。
- ・他の研究者様との条件を整えるため、所属のロゴや写真などの挿入は控えていただきますようお願いいたします。

※公平性の観点から、事務局にてロゴや写真を削除する場合がございます。

2) 所属と氏名

- ・国立大学法人、独立行政法人などの設立根拠法の記載は割愛させていただきます。
- ・所属と役職（教授、准教授、センター長など）は、企業が確実に連絡できるよう、主となる大学、研究機関に限定して記載をお願いいたします。また、英語でも同様に、主となる大学、研究機関に限定して所属の記載をお願いいたします。

3) ご提案のタイトル

- ・“想定される疾患名”、“研究の成果物”（例えば創薬シーズの場合：創薬標的、ヒット・リード化合物・リガンド・試薬・動物病態モデル等リサーチツール・バイオマーカー・遺伝子治療・再生医療、等／例えば創薬基盤技術の場合：薬物送達技術、遺伝子改変技術、疾患遺伝子の同定技術、製剤化技術、等）を表す単語を用いていただき、ご提案内容を企業が容易にイメージできるタイトル・サブタイトルを設定いただくことを強くお勧めいたします。
- ・英語のタイトルも記載をお願いいたします。
- ・参加申込時にはタイトルのみをご登録いただきます。企業向けの資料データベースにはご登録いただきましたタイトルのみが表示されます（サブタイトルは表示されません）ので、ご提案タイトルの設定には十分なお検討をお願いいたします。

※DSANJ 事務局よりタイトルの修正をご提案する場合がございます。その際にはご検討をお願いいたします。

※タイトルの設定にご助言等が必要な場合、本ガイドライン末尾のお問い合わせ先までご連絡をお願いいたします。企業の関心を引くタイトル案を DSANJ 事務局から提案させていただきます。

・以下にタイトル・サブタイトルを例示いたします。

＜ご提案に創薬シーズを含む場合＞

- ― 創薬標的 X の発見・同定
- ― 創薬標的 X の細胞レベルでの仮説検証
- ― 創薬標的 X の動物レベルでの仮説検証
- ― ヒット・リード化合物（低分子・ペプチド等）の取得
- ― 新薬候補薬剤（抗体・核酸等）の取得
- ― DDS を用いた創薬標的の仮説検証
- ― バイオマーカーとセットでの創薬標的 X の仮説検証
- ― 免疫療法（再生医療）関連技術による創薬標的 X の仮説検証

＜ご提案に創薬基盤技術を含む場合＞

- ― ○○疾患に応用可能な薬物送達（DDS）技術
- ― ○○疾患モデル動物（遺伝子改変動物を含む）
- ― ○○を標的としたスクリーニング技術
- ― ○○を標的としたアッセイ技術
- ― ○○疾患に応用可能な再生関連技術
- ― ○○疾患に応用可能な細胞療法技術

＜サブタイトル（ご提案に創薬基盤技術が含まれる場合の例）＞

- ― ○○疾患に応用可能な薬物送達技術（DDS）の開発
- ― ○○疾患モデル動物（遺伝子改変動物を含む）の作成
- ― ○○を標的としたスクリーニング法の開発
- ― ○○を標的としたアッセイ法の開発
- ― ○○疾患に応用可能な再生関連技術の開発
- ― ○○疾患に応用可能な細胞療法関連技術の開発

（以下余白、次頁に続く）

「Executive summary」について

1) 研究の目的と標的（疾患×メカニズム）

- ・「Background to study」のスライドで記載いただく『研究の目的と標的（疾患×メカニズム）』の要約の記載をお願いいたします。

2) in vitro/in vivo データによる有効性

- ・研究成果の有効性を示す in vitro/in vivo 実験での数値データやグラフの提示をお願いいたします。実験方法のご説明等詳細は「Summary of study」に記載をお願いいたします。

3) 「Advantage of this study over competing studies」のスライドの要約

- ・「Advantage of this study over competing studies」のスライドの内容のうち、最も主張されたい内容を記載いただくようお願いいたします。

4) 企業との連携希望内容（開発支援など）

- ・企業とどのような連携を希望されるか簡潔に記載をお願いいたします。

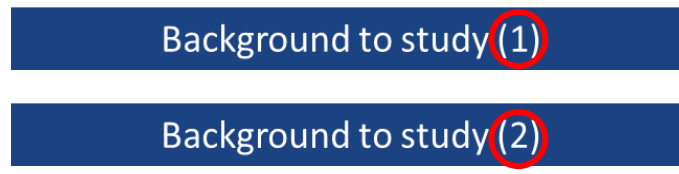
（以下余白、次頁に続く）

「Background to study」について

1) 項目タイトルと番号

“Background to study”が複数ページになる場合は、スライドを挿入する際に以下のように番号の差し替えをお願いいたします。

※DSANJ事務局が校正を実施する場合がございます。



2) サブタイトルの活用

スライド毎にサブタイトルをご活用ください。

3) 研究の目的と標的（疾患×メカニズム）

- ・当該疾患領域、創薬シーズ、創薬基盤技術等の研究現状、研究に着手された経緯、研究推進の必要性や当該研究から見出された創薬標的、医薬品候補物質、創薬基盤技術がどの疾患の治療として有望か（あるいは応用可能か）記載をお願いいたします。複数の疾患が考えられる場合には、最も有望と考えられ、また、データが充実している疾患を中心に記載してください。

※その他想定される疾患については、提案資料末尾「Related Information」スライド内の「Potential target disease on this proposal」に記載をお願いいたします。

4) アンメットメディカルニーズとその解決法

- ・当該疾患領域のアンメットメディカルニーズとその解決法を記載いただきますようお願いいたします。その際、下記3点を記載いただくと、より企業の目を引く資料となります。

1. 疾患の重大さ（臨床的インパクト） or 市場性（経済的インパクト）
2. 既存治療の限界（なぜ不十分か）
3. 自シーズによる解決の道筋（標的・メカニズム・差別化要因）

「Summary of study」について

DSANJ Bio Conference では、参加企業は提案資料をもとに面談希望の有無を判断いたします。企業に十分な検討材料を提供するため、3) サブタイトル、4) 十分な説明、5) 略語の説明（詳細は以下の各項目をご確認ください）の記載が重要になります。

1) 項目タイトルと番号

- ・“Summary of study”が複数ページになる場合には、スライドを挿入する際に以下のように以下のように番号の差し替えをお願いいたします。

※DSANJ 事務局が校正を実施する場合がございます。

Summary of study (1)

Summary of study (2)

2) 実験結果の図

- ・簡明で魅力的なデータの提示をお願いいたします（公開可能な情報のみで作成をお願いいたします）。

3) サブタイトル

- ・各スライドにサブタイトルを記載してください。例えば、「当該遺伝子のがん細胞増殖における役割の検討」「化合物 X の肺がん移植モデルマウスにおける抗腫瘍作用」等、実験の目的や結果を示すサブタイトルの記載をお願いいたします。

※創薬シーズの場合、「膵臓がん細胞癌株に対する化合物 X, Y の効果」「マウス移植モデルに対する効果」等、実験の目的や結果を示すサブタイトルの記載をお願いいたします。

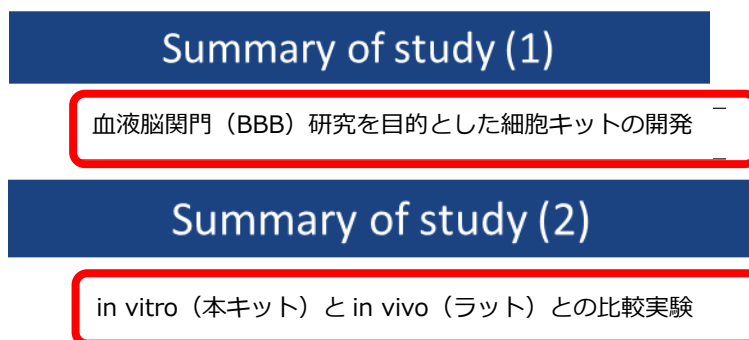
Summary of study (1)

膵臓がん細胞癌株に対する化合物X,Yの効果

Summary of study (2)

マウス移植モデルに対する効果

※創薬基盤技術の場合、例えば「血液脳関門（BBB）研究を目的とした細胞キットの開発」「in vitro（本キット）と in vivo（ラット）との比較実験」等、実験の目的や結果を示すサブタイトルの記載をお願いいたします。



4）十分な説明

- ・ 実験方法（**使用動物・細胞、サンプル数、投与量・添加濃度、投与ルートや期間**）や実験結果のグラフ等の説明については、口頭の説明無しで理解できるわかりやすい表記をお願いいたします。

5）略語の説明

- ・ 当該疾患・研究領域の専門家でなくとも理解できるように、まだ一般的でない略語には非省略語の併記・脚注をお願いいたします。

（以下余白、次頁に続く）

「Advantage of this study over competing studies」について

1) 項目タイトルと番号

・“Advantage of this study over competing studies”が複数ページになる場合には、スライドを挿入する際に以下のように番号の差し替えをお願いいたします。

※DSANJ 事務局が校正を実施する場合がございます。

Advantage of this study over competing studies (1)

Advantage of this study over competing studies (2)

2) 研究成果の優位性

- ・ **企業は、既存の薬や技術に対する優位性を最も重要視いたします。過去 DSANJ Bio Conference に参加された企業からは、「実用化を考えた場合、新規性・独創性だけではなく、他の研究との比較優位性をアピールしていただくことが社内の合意形成につながる」という声が多く聞かれます。**
- ・ 研究成果の優位性を「研究概要のまとめ」として具体的かつ簡明に記載してください。未公開の研究成果については、企業は研究者に個別に折衝することで他社に先んじて利用できる可能性があり、優位性があると評価される場合がございます。
- ・ 当該成果が秘密情報に該当する場合は、具体名を伏せて、標的 X や大まかな疾患での記載をお願いいたします（データを含む秘密情報は絶対に開示いただかないようご注意ください）。

記載例)

- ・ 標的 X のアッセイ系を構築し、化合物ライブラリの中から阻害効果物質を発見している。
- ・ 自己免疫疾患の動物病態モデルで標的 X を検証中。
- ・ 基礎研究の場合、先生の独自の研究で発見されたアッセイ系や病態モデルのノウハウが優位性につながります。
- ・ 創薬研究では、ゴールドスタンダードの既存薬（既存治療方法）との差別化（優位性）が必須となります。比較データがない場合は仮説で結構ですので、可能な限り現在の医療現場における標準治療薬（既存治療方法）に対する優位性の記載をお願いいたします。

- ・競合技術やゴールドスタンダードに対する優位性には、例えば、次のような項目が挙げられます。

例)

- ・有効性（精度や感度等） ・特異性（差別化） ・利便性（操作性等）
- ・安全性や副作用等 ・経済性（製剤／原薬の製造コスト大幅低減）

「Plan for practical application and collaboration with companies」について

1) 項目タイトルと番号

- ・“Plan for practical application and collaboration with companies”が複数（2ページ以上）になるときは、以下のように番号の差し替えをお願いいたします。

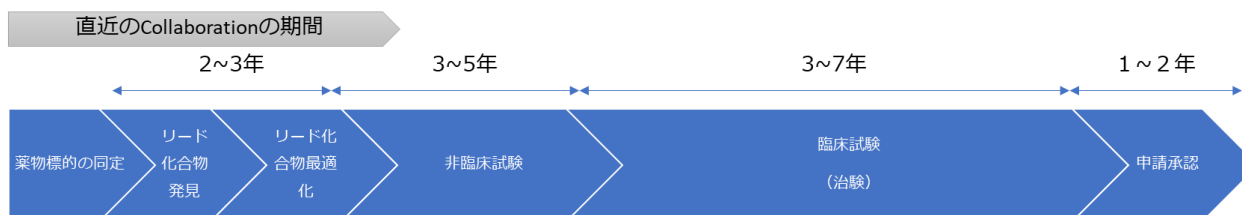
※DSANJ 事務局が校正を実施する場合がございます。

Plan for practical application and collaboration with companies (1)

Plan for practical application and collaboration with companies (2)

2) 今後の研究計画

- ・研究のゴールや今後の研究計画の記載をお願いいたします。可能でしたら、下記のような研究計画のタイムラインを示すグラフや情報を記載いただくと、企業が皆様との連携をよりイメージしやすくなります。



3) 今後の課題

- ・ゴール達成のための課題の記載をお願いいたします。

4) ご提案者と企業の分担

- ・ゴール達成に向け、ご提案者が担うお役割・企業に期待する役割について、主要な項目で結構ですので記載をお願いいたします。

「Role of Proposer」：ご提案者が担うお役割

「Role of business partner(s)」：企業に期待される役割

記載例)

- ・化合物ライブラリの提供 ・誘導体の合成・化合物の最適化
- ・In vitro あるいは in vivo でのスクリーニング、評価
- ・知的財産の確保（特許の出願、権利化） ・薬効メカニズムの解析
- ・薬効薬理試験や安全性試験の実施 ・前臨床試験パッケージの取得 ・臨床試験の実施

「Reference (Patents/Background materials)」について

1) 研究に関する特許

- ・特許出願されている場合には、差し支えない範囲で出願番号、発明の名称および出願人の記載をお願いいたします。
- ・出願特許が公開されている場合には、公開番号、発明の名称および出願人の記載をお願いいたします。
- ・特許権利化済の場合は、特許番号、発明の名称および特許権利者の記載をお願いいたします。

2) 研究に関する主要な論文、文献

- ・直接関係する主要論文（自著、共著、他著問わず）がございましたら、記載をお願いいたします。

「Related Information」について

1) 研究に関するキーワード

- ・データベースに収録いたしますので、臨床適応の拡大も含めて検索でヒットさせるためのキーワードの記載をお願いいたします。

2) ご提案以外に想定される疾患領域（臨床適応の拡大等）

- ・今回、データで示したアプリケーション（疾患・用途）以外で応用が可能と想定される疾患あるいは用途がございましたら記載をお願いいたします。

（以下余白、次頁に続く）

資料作成にあたり、ご不明な点等ございましたら

DSANJ 事務局までお問い合わせをお願いいたします。

DSANJ 事務局

住所：〒540-0029 大阪市中央区本町橋 2-8

お問い合わせフォーム：

<https://reg26.smp.ne.jp/regist/is?SMPFORM=mat-qckis-4e04f3418a09e72dec93c9309b4b0c38>

電話番号：06-6944-6484（午前 9 時～午後 5 時）

時間外の場合は上記お問い合わせフォームまでご連絡をお願いいたします。

以上